



1_3区金丸哲選手 2_一斉スタートとなった15区、鈴木真奈選手(猪苗代中1年) 3_6区半澤拓見選手 4_閉会式終了後、みんなで記念撮影 5_2区住吉秀昭選手(田村高2年) 6_7区吉田勇大選手(東中2年) 7_9区小川あかり選手(猪苗代中3年) 8_アンカーを務めた松崎政継選手 9_11区金子瞳選手 10_12区影山裕選手 11_8区國分伊三郎選手(猪苗代中3年) 12_4区小川広選手(田村高3年)

から5区神汰輝選手(会津高1年)にリレー 13_13区五十嵐史朗選手から14区长谷川尚大選手(会津学鳳高2年)にリレー。五十嵐選手の懸命のサポートで間一髪タスキがつながる。長谷川選手が一斉スタート用のタスキを放り投げて走り出す 14_1区小林萌々選手(猪苗代中2年) 15_10区五十嵐修一選手(学法石川高3年) 16_11区金子瞳選手(緑小教諭)の応援に駆け付けた緑小の児童たち

7区 町の部区間賞
吉田勇大選手



とにかくがんばるしかないと思って走った。区間賞を取れるとは思ってなかったので、結果を聞いたときは驚いた。今年の冬は体力づくりに取り組んで、来年の中体連で県大会に行けるように頑張りたい。

2区 町の部区間賞
住吉秀昭選手



最初から区間賞を取るつもりで走った。タスキを渡すまでに町の部1位にすることが自分の役割だと思っていたので、それを果たせてよかった。総合では区間5位だったので、来年はもっと上を目指したい。



五十嵐幸夫監督

選手、コーチ、監督として25回連続出場

25年間この大会に携わってこられてよかった。走るだけでなく、いろいろな経験ができて、自分にとってプラスになった。これからもこの大会を目指して選手が育ってほしい。

全力でつないだタスキ

第25回ふくしま駅伝

第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会(ふくしま駅伝)は11月17日、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間、95・1キロのコースで開かれました。

県内53チーム、839人が参加。猪苗代町チームは町の部で4位、総合で13位と今年も健闘しました。

レースでは、2区の住吉秀昭選手、7区の吉田勇大選手が町の部区間賞を獲得したほか、全ての選手が粘り強い走りを見せました。全力を出し切り、タスキをつないだ選手たちの頑張り、町民に元気と勇気を与えました。

四半世紀の節目を迎え、開会式で第1回大会から連続で出場している選手などを表彰。選手、コーチや監督として25回連続で出場している本町チームの五十嵐幸夫監督が表彰を受けました。